

秘 密  
保 護 法

# 反対空前

示された平和・民主主義まもる力



秘密保護法案に反対して、デモ行進する大阪の弁護士ら  
11月12日、大阪市内（大阪民主新報提供）

秘密保護法案には、ごく短期間に立場の違いを超え空前の規模で反対が広がりました。日本国民の中に平和と民主主義を守る大きなエネルギーがあることが示されました。

### 映画監督・山田洋次氏、俳優・吉永小百合氏ら特定秘密保護法案に反対する映画人の会

「心ならずも戦争に対する翼賛を押し付けられた映画界の先達の反省に立ち…とても容認することはできません」(呼びかけ)

### 日本ペンクラブ(浅田次郎会長)

「市民による秘密への接近を厳罰をもって規制することは、この社会の内部にも、近隣諸国とのあいだにも疑心暗鬼と敵対感情を生じさせ、不穏な未来をもたらす」(声明)

### ノーベル賞受賞者の益川敏英氏、白川英樹氏ら特定秘密保護法案に反対する学者の会

「『秘密国家』・『軍事国家』への道を開く」法案に「学問と良識の名において」反対する(声明)

### 野中広務自民党元幹事長

「どうして今、この法律がいるのか、私にはそれがわからない。戦争の足音が聞こえてくる」「善良な人たちが罰せられることになりかねない」(11月17日TBS系番組で)

### 日本歴史学協会

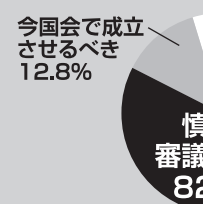
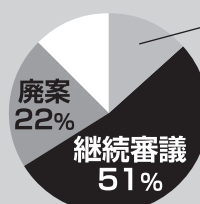
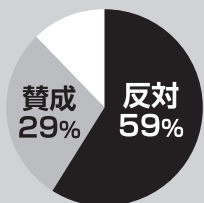
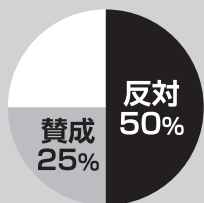
「本法案が示す軍事優先の姿勢は、憲法の平和主義の原則とは本来両立し得ない」「歴史の真実の検証が不可能になり、歴史研究にとって大きな妨げとなる」(緊急声明)

### 瀬戸内寂聴さん(作家)

「秘密保護法案などという怪しいものがまかり通っては、まさにあの不吉な戦争前の足音がよみがえる」(「京都」11月24日付)

## 国民の中では反対が多数

各紙の世論調査



「慎重審議を」は8割